

【1 分解説】サーキュラーパートナーズとは？

総合調査部 主席研究員 加藤 大典

サーキュラーパートナーズ（CPs）とは、日本のサーキュラーエコノミー（CE）の実現に向けた産官学のパートナーシップのことです。2023 年 3 月に経済産業省が策定した「成長志向型の資源自律経済戦略」に基づき発足、同年 12 月に第 1 回総会を 307 団体で開催し、2025 年 1 月末には 610 を超える団体が参画しています。

CPs は、CE に関する、2030 年・2050 年を見据えた日本全体や製品・素材別のビジョンやロードマップの策定、2025 年を目途としたサーキュラーエコノミー情報流通プラットフォームの立ち上げ、地域循環モデルの構築、標準化、マーケティング、国際連携、技術検討等を行います。会員は、CPs 参画から 1 年以内に CE に関する定量目標を事務局（経済産業省等）に提出し、具体的な取組とともに公表します。また年次でフォローアップを行います。

国は、2024 年 8 月に「第五次循環型社会形成推進基本計画」を閣議決定し CE への移行を国家戦略に位置付け、同年 12 月に「循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行加速化パッケージ」を関係閣僚で決定しました。廃棄物等を資源に新たな成長につなげるとともに、気候変動対応や生物多様性の保全、地方創生や質の高い暮らしの実現、産業競争力の強化、経済安全保障の確保も同時に目指します。

CE の実現には多くの関係者の連携が必要であり、CPs の発展が期待されます。